

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	2.4	BEEランク	A
建物名称	中の島小学校改築	総合評価	★★★★★		
建物用途	学校				
延床面積	9,443.54 m <sup>2</sup>				

### 2 重点項目への取り組み

地球 温暖 化 対 策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b>	★★★★★
	<b>省資源等</b>	★★★★☆
	<b>緑化</b>	★★★★★
	<b>雪処理</b>	★★★★★

### レーダーチャート

この建物は特に  
**緑化への取組**  
が優れています

### 3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計	19点	／24点
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0	
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0	
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 10.0	
		LR1 効率的運用	スコア 2.0	
<b>B 省資源等</b>		<b>合計</b>	<b>18点</b>	<b>／23点</b>
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 7.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 2.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0	
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 4.0	
		LR3 地域環境への配慮	スコア 3.0	
<b>C 緑化</b>		<b>合計</b>	<b>12点</b>	<b>／16点</b>
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 2.0			
<b>D 雪処理</b>		<b>合計</b>	<b>3点</b>	<b>／3点</b>
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	

### 4 設計上の配慮事項

<b>A 省エネルギー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アリーナ上部には、ハイサイドライトを設け、自然換気ルートを確認し、夏季のナイトバージ、積雪時も含めた積極的な自然採光の確保を行う</li> <li>・屋根には太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの有効利用を図るとともに環境学習の教材として活用</li> <li>・災害時の避難所となる1階中央の屋内広場は、屋外との温熱環境上のバッファゾーンとなる諸室に囲まれた構成により断熱性を高め、居住環境を維持</li> <li>・LED照明やHf照明器具の採用等により消費電力の削減を図る</li> </ul>	<b>B 省資源等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限りモジュール設計を行い、使用材料の効率化を図り、建設時の端材・廃材を縮減</li> <li>・外装材の外断熱複合パネルは道内で発生した循環資源を利用し、道内で製造されたりサイクル製品を採用</li> </ul>	<b>C 緑化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地背後の精進川、豊中公園の緑と調和する景観デザイン</li> <li>・敷地内の既存樹木は可能な限り伐採せず保全し、長く地域に親しまれている景観の継承を図る</li> <li>・精進川や豊中公園の緑地と呼応するように、通りに面する部分を緑化することにより、緑の景観を形成し潤いのあるまちなみをつくる</li> </ul>	<b>D 雪処理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪ルートに配慮した位置に除雪機倉庫を設置</li> <li>・敷地内の児童の登下校ルートはゆとりのある幅員とし除雪のしやすさに配慮</li> <li>・職員が日常利用する敷地内通路には雁木状の空間を設け、移動のしやすさに配慮</li> </ul>
--	---	---	---

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される